

大橋川通信



2006.10
第15号

発行 /
大橋川コミュニティセンター

大橋川周辺のまちづくりについて考える 「市民意見交換会」を開催



大橋川中流部の水田と松江市街地

委員会主催で活発な意見交換
市民を中心に100名近い人々が集まる

市民意見交換会を開催

大橋川周辺のまちづくりについて考える市民意見交換会を、9月10日(日)くにびきメッセ多目的ホールで開催しました。

この意見交換会は、これまでに大橋川周辺まちづくり検討委員会が検討してきた「大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)」について、市民の皆様からご意見を伺うため委員会が主催したもので、松江市内を中心に米子市等県外からも含め93名の参加がありました。

「平成18年7月豪雨」を踏まえ 水害の教訓や意見を述べる

テーマ①として、平成18年7月豪雨について、意見・感想を参加者が付箋に書き込み、図面の該当する場所に貼り、意見集約を行いながら主な意見を紹介しました。

その後、松江市街地の浸水状況と主な浸水パターン、斐伊川・神戸川流域の被害概要(速報)について、行政が説明を行いました。

大橋川周辺のまちづくりについて 色々な観点から意見を述べる

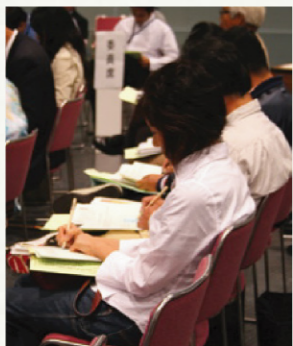
テーマ②として、大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)について、これまで委員会で検討してきた経緯や、基本方針の内容等を説明した後、参加者が付箋に意見を書き込み、図面の該当する場所に貼っていきました。その後、意見交換に入り、参加者からは、治水事業や災害時の初動対応、まちづくりの考え方等、様々な観点から意見や質問ができました。

今後、意見交換会での意見や、その他寄せられた意見を集約・反映し、委員会で基本方針の検討を進めていきます。

過去の資料の
お問い合わせ先
市民意見交換会の資料や、
大橋川通信をご希望の方は、
大橋川コミュニティセンター
へお問い合わせ下さい。
ホームページからもダウンロード
http://www.nablne.jp/~comsen



市民意見交換の様子



これまでに、大橋川周辺まちづくり検討委員会で出た意見は、191項目に及びます。今回の市民意見交換会での意見118項目を加え、次回委員会で検討を重ねます。



大橋川周辺のまちづくりについて、118項目の意見をいただきました。

「平成18年7月豪雨」と、「大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)」の2つのテーマについて、付箋に意見を書き、それぞれ図面の該当する場所へ貼りながら、参加者の意見がどういったものか互いに確認し合いました。

このうち、大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)に関する意見は、118項目となりました。



休憩時間にはお茶を飲みながら歓談も。

付箋に意見を記入し、図面に貼り終えた方が、お茶を飲みながら歓談する姿も見られました。参加された方の大橋川への想いは様々ですが、松江のまちを愛する気持ちが伝わってきました。

集約した意見の公表や、報道機関への説明等、今後も積極的な情報提供を行い委員会を進めていきます。

市民の皆様からのご意見を反映し、委員会で検討を重ねていきます。

大橋川周辺まちづくり検討委員会では、今年度を目標に、皆様からの意見を反映したまちづくり基本方針(委員会案)を作成し、行政に提案したいと考えています。その後、策定された基本方針を踏まえ、基本計画の検討に入り、具体的な内容について討議していきます。情報の公開、皆様のご意見を伺いながら進めるとい形式を維持しながら委員会を進めていきます。



市民意見交換会終了後、大橋川周辺のまちづくり等について、報道関係者からの質問に答えました。今後も積極的に情報発信を行います。

大橋川周辺のまちづくりについて活発な意見交換が行われる



主な質問や意見の要旨

- 環境検討委員会との関係で、相互の整合がとれていないのではないか。
- 基本方針で、川辺の樹木が「松や柳」に限定されているのはなぜか。
- 大橋川周辺まちづくり基本計画の公表時期の目標はいつ頃か。
- 治水、環境、まちづくり、景観の調整、整合性をどのように行うのか。
- 上流・中流・下流の景観、まちづくりの連続性についてどう考えているか。
- 現在の17代目の大橋はハーンがすばらしいと言った橋ではなく、耐震強度に不安な面があり、耐震構造でかつ歩道は木製でカラコ口と鳴る松江に相応しい橋を再現すれば良い。その為に市民の意見を聞きながら会を重ねることが有益。
- 松江の景観を考えると17代大橋は残すべき。
- 治水、環境、景観の中で優先順位づけの必要があると考える。
- これまでの治水対策として、大橋川改修とは別に、少なくとも内水対策は出来たのではないか。
- 3点セットが完成するまでの間に、逆流を防ぐ等の減災処置を施さなければ何回も被害に遭うと考える。
- 計画するにあたっての雨量や、地球温暖化の影響による潮位をどう考えるのか。
- ダムと放水路が完成した場合の試算を出すべき。
- 佐陀川の拡幅等、まだまだ代替案も考えられるが、検討はどうなっているのか。

主な質問に対する回答の要旨

- ➔ 今年の4月から約1年を目処に環境調査が実施されており、今後調査結果等を適宜、まちづくり委員会の方へ提供していきたいと考えています。
- ➔ 松江にとってふさわしい木は何かという議論を委員会で進めており、しっかりと議論していきます。
- ➔ 基本方針は、今年または今年度中に決定し行政へ提言する予定です。決定した基本方針を踏まえ基本計画を検討しますが、具体的な議論へ入るため公表時期は未定です。委員会としては、来年度中に結論ができればと考えています。
- ➔ 景観の向上、環境保全等の諸条件を明確にし、各委員会の議論の内容を参考に検討することで、整合性が図られると考えています。
- ➔ 上流・中流・下流それぞれに特色があり、その特色を生かしながらどのように連続性を考えるか、今後、基本計画づくりの中で具体的に検討することになると考えています。
- ➔ 大橋が昭和12年、新大橋が昭和9年に完成し、約70年経ち、安全性の問題、高さ不足の問題等を抱えており、形状、形式等どのようにするかは景観専門委員会でも十分に議論した上で計画を立てたいと考えています。また、まちづくり委員会の中でも、今の風情を大切にするなど様々な意見があり、出来るだけ多くの方が納得できる議論をしており、多くの方の意見を聞きたいと考えています。
- ➔ 委員の中でも様々な意見があり難しい問題ですが、松江にとって何が一番大事かを考え議論を進めていきます。
- ➔ 今回の水害で分かったメカニズムもあり、環境と治水計画とまちづくりと当面の浸水対策を総合的に考え、手戻りのないように進めていきます。
- ➔ ソフト面を含め当面とすべき浸水対策は何か、ということについて、国・県・市で検討を行っているところです。
- ➔ 計画の雨量は2日間で399ミリ、昭和47年7月豪雨の約1割増しを想定しています。潮位も含め温暖化の影響がどの程度か確実にない段階で計画に取り込むのは困難ですが、引続き調査・研究を行っていきたくと考えています。
- ➔ 3点セットがない場合の穴道潮水位は約3.7m、ダムと放水路だけだと約2.7m、3点セットが完成すると約2.5m、松江市街地を守るためには大橋川の堤防のかさ上げがないことには守れないということもご理解下さい。
- ➔ まだ概略の検討ではありますが、様々な代替案を検討しホームページに掲載しています。今後も日本海へのバイパス等、追加の代替案についてもホームページ等で示していきます。

委員会が開催した「市民意見交換会」司会進行や意見集約も委員が行い、必要に応じて行政が説明。



平成18年7月豪雨による被害の状況や、市民の皆様からの質問や意見に対する回答等、必要に応じて、国・県・市がそれぞれ説明を行いました。



桑子敏雄委員の進行で意見交換を行いました。

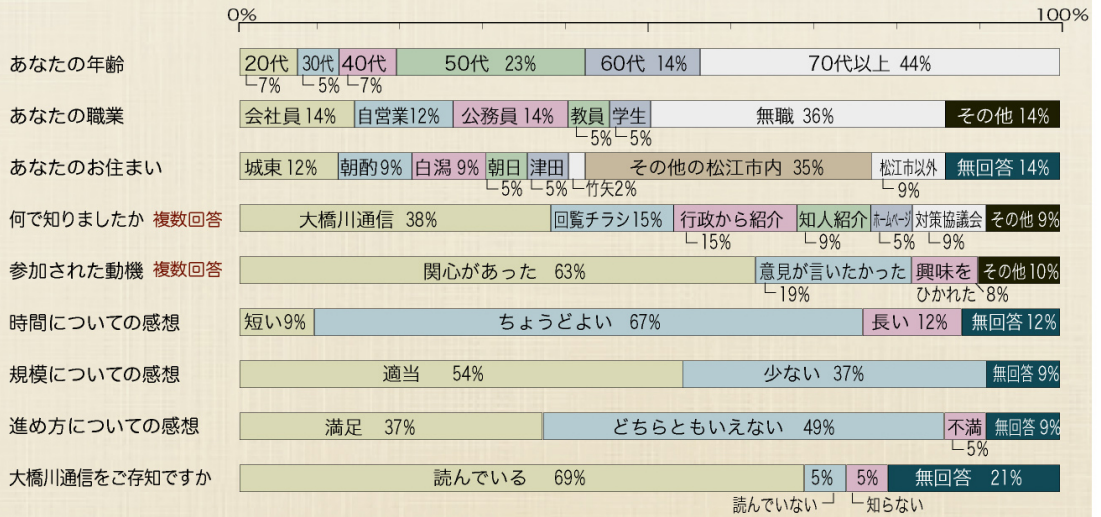
出来るだけ多くの方からご意見・ご質問を頂くため、ひとりあたり3分以内にまとめて発表。大橋川周辺のまちづくりに関する意見は賛否両論、様々な観点から各自の意見を述べました。



意見交換会の冒頭に挨拶を行う島田雅治委員長

市民意見交換会参加者へのアンケート結果

会場にお越しの93名のうち43名の方に回答いただきました。



大橋川の今昔

大橋川の見慣れた風景も時代と共に少しづつ姿を変えてきています。「大橋川の今昔」では、大橋川沿川の移り変わりをお宝写真と共に紹介しています。

現在、この辺りは、くにびきメッセや国の合同庁舎等の公共施設の他、くにびき道路や学園通り周辺の店舗や住宅等多くの建物が立地していますが、当時は、朝酌川沿いに広がる農地や造船関係の会社が多く、旧松江市内でも、最も景色が変わった場所のひとつと云えるでしょう。

写真左側から、今年撤去されたガスタンク、その右側に船のエンジンを造るマッティゼル、更に道路を挟んで右側に松江市立第一中学校の校舎やグラウンドがあります。また、第二中学校より北側には、まとまった規模の水田が広がっていました。

大橋川北部に広がる水田と
平坦な街並の奥に際立つ稜線

昭和52年4月 くにびき大橋建設当時の様子

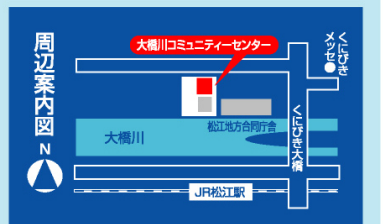


現在の様子



大橋川コミュニティセンター

【開館日】年中無休(年末年始除く) 【開館時間】9:30~16:00 【駐車場】5台程度
〒690-0841 松江市向島町134-4
TEL(0852)28-3621・3622 FAX(0852)28-3623
E-mail:comisen@mable.ne.jp
ホームページ: <http://www.mable.ne.jp/~comisen>



*大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。